

ハCCP(ハサップ)の概念に基づく設計とし、衛生管理を徹底を図る。1階は管理室、食材の搬入室、下処理室、調理

## 半期公告へ

八雲地域の中小10校に約1200人分を提供しているが、老朽化などを受けて内浦町237(約6100平方メートル)に移転することを決めた。

17年度から基本設計に着手し、現在はドローンで実施設計を履行中。改築に合わせて、同じく老朽化する熊石地域の給食センターと統合し、町内全域で小中12校、約1300食を供給するドローン方式の調理施設とする。

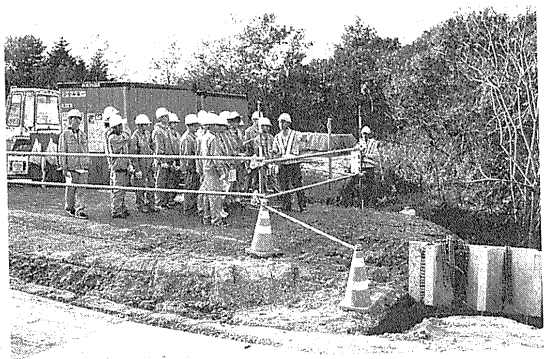
基本設計段階の外観イメージ。衛生管理を徹底した施設づくりを目指している。



田理 調印式で池田市長は「近年は火災だけでなくさまざまな災害が多い。この

## 3D測量技術を解説

函館建青会 高専生招き現場見学会



「函館」高木組(本社)は26日、市などが主催する秋のクリーン作戦に参加し、本社から大門横丁にかけてのごみ拾い奉仕に励んだ。写真

函館高専生を招いて建設業の魅力を伝えた。渡辺一史会長ら12人が参加。冒頭で渡辺会長が同会の成り立ちや組織構成、建設業の役割などを説明したほか、各種イベントやボランティアに協力し、地域活性化に

「3D測量の最先端技術がすごかった」と関心を寄せた様子だった。函館高専社会基盤工学科の大久保孝樹教授は「直接現場を見たことが、今後の授業での関心度合いや飲み込みの早さにつながる」と話した。

## 生徒が避難所開設体験

白老中で「1日防災学校」

【苦小牧】白老町立白老中は27日、1日防災学校を開いた。全校生徒182人が、ものごとの判断力などを身に付けるため、防災かるた、避難所開設体験、避難所運営ゲームD.O. Hugを体験し、防災への知識を深めた。

【苦小牧】白老町立白老中は27日、1日防災学校を開いた。全校生徒182人が、ものごとの判断力などを身に付けるため、防災かるた、避難所開設体験、避難所運営ゲームD.O. Hugを体験し、防災への知識を深めた。

【函館】函館建青会は26日、函館建管と函館開建発注現場に函館高専の建築の奏上を聴いて1日で地元の自然、歴史、文化、食を堪能した。

## 不正ダンパー

「厳しく対応」  
市庁舎使用で

【函館】函館市役所本庁舎に川金コアテックの不正ダンパーが使われていた問題で、工藤寿樹市長は26日の定例記者会見

## 安全作業へ連携を

函館開建維持 除雪連絡協議

【函館】函館開建維持除雪工事連絡協議会は26日、函館建設業協会と2

【小樽】建設防小樽分会(中野豊分会長)は26日、2018年度第5回安全指導パトロールをした。北海道新幹線線路里下町の現場を訪れ、粉じん障害や重機災害の防止対策などを調べた。

【室蘭】登録建設協会は26日、2018年度の経営者研修会を登録温泉ホテルまほろばで開いた。協会員31人が参加。講演では堀井学衆院議員

【小樽】小樽市や小樽商工会議所は、北海道胆振東部地震に係る市内経

【室蘭】登録建設協会

193者が「被害あり」  
小樽市など経済影響調査

【小樽】小樽市や小樽商工会議所は、北海道胆振東部地震に係る市内経

【函館】函館市役所本庁舎に川金コアテックの不正ダンパーが使われていた問題で、工藤寿樹市長は26日の定例記者会見

【室蘭】登録建設協会

堀井学衆院議員が講演  
登別建協の経営者研修会

【室蘭】登録建設協会

点検、ロー

点検、ロー



各現

平成30年度 厚生労働省委託事業  
受入事業所募集中

### 職場体験実習で人材の発掘

季節労働者の中には、通年雇用を望むものの、他業種への就職に不安を感じ、ためらう方がいます。これらの方を通年雇用へ導くため、個別ニーズに対応した職場での体験を通じて不安を解消し、仕事の適性を判断していただくため、受入事業所を募集しています。

職場体験実習は 最長7日間(1日8時間以内)です。体験実習終了後に協力謝金(1日4,000円～4日間に上:20,000円)

1～3の全ての条件に該当する事業所

●実習者を

### 高専の学生対象に現場見学会 建設業への関心深めて 函館建青会 最新技術を紹介

場を見学。函館建青会から渡辺会長ら12人、函館高専から社会基盤工学科2年生36人が参加した。

現場見学会に先立ち、同校で渡辺会長が函館建青会の活動内容などについて紹介。引き続き、函館開建函館港務事務所の伊藤千尋所長と函館建管の椋平剛史道路課長が各現場の事業概要について説明したあと、一行は現場へ移動した。

「3・6・82臨空工業団地改良債務ほか」の現場では、森川組の担当者がアダムウォール工法による補強工事などの専門的技術について、模型を用いながら分かりやすく解説した。現場で活用しているレーザーガイダンスによる3次元測量についても説明。3

【函館建青会】函館建青会（渡辺一史会長）は26日、函館高専社会基盤工学科の学生を対象とした現場見学会を開催した。学生たちは施工手順や専門的な技術を現場で学ぶとともに、ICTを活用した最先端技術にもふれ、建設業への興味関心を深めていた。

この日は、森川組が施工する「3・6・82臨空工業団地改良債務ほか」（函館建管発注）と、伊菅原組が施工する「函館港若松地区岸壁基礎工その他」（函館開建発注）の2現場が対象だった。



タブレット端末上に完成イメージが表示される技術などを紹介した

次元測量データを活用し、ICT建機による施工と組み合わせることで日々の施工進捗を容易に確認できるなどの利点を示した。

その上で、実際に作成した現場の3Dモデルを見せると、学生たちからは「すごいリアル」と精度の高さに驚く声が上がっていた。現場の施工箇所をタブレット端末をかざすと、カメラの映像上に完成イメージが表示される技術も紹介するなど、ICTを活用した最先端技術にふれてもらった。

渡辺会長は、普段室内で

### 円滑な業務実施へ議論 函建維持除雪連絡協が会議 地震対応の事例発表等通し



受発注者間で情報共有を図った

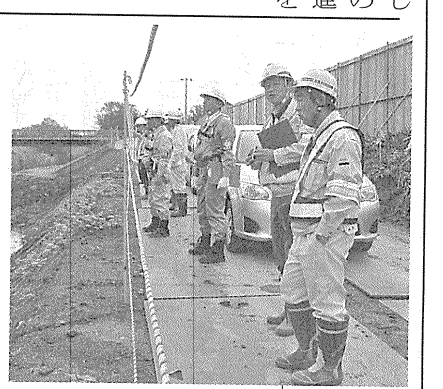
【函館建青会】函館開建維持除雪工事連絡協議会（館義彦会長）は26日、函館建設業協会が維持・除雪会議を開催した。維持除雪を請け負う各社の役員と函館開建の職員合わせて50人余りが参加。北海道胆振東部地震の対応に関する事例発表や発注者側からの情報共有を実施した。

館義彦会長は、昨年度の降雪状況について「どこも対応が厳しい状況だった」と振り返り、本年度も台風や北海道胆振東部地震などの災害対応が求められるなど大変な状況が続いていると強調。その上で「この機会を生かし、冬の円滑な業務の実施につなげてほしい」と呼びかけた。

建設技術や学んでいる学生たちにとって「現場見学会は建設業について理解を深めてもらう良い機会」と強調し、「こうした最先端技術期待した」。

札幌建管長沼出張所安全協議会  
安全第一の施工を要請  
2 現場対象にパトロール

【岩見沢発】札幌建設管理部長沼出張所管内工事安全協議会（鶴川昌久会長）は26日、長沼出張所とも連携し、現場の管理状況を細かく点検するとともに、工事安全パトロールを実施した。雨煙別川広域河川



現場の管理状況を細かく点検した

対策の一層の充実を図るよう呼びかけた。

パトロールには、鶴川会長（共立道路）ら協議会役員、中條所長ら長沼出張所の職員、防災防犯見守り隊のメンバーらも参加した。

「4大管理」と言われる工程管理、品質管理、安全管理、原価管理のうち、失敗できないのが安全管理。きょうは現場を点検するが、どこかに危険が潜んでいるはず。プロの目で指摘してほしい」と呼びかけた。

続いて、函館開建の近藤幸司次長があいさつ。「国道の安全が守られているのは皆さんの協力のおかげ」と謝辞を述べ、「今回の会議が少しでも有効な情報を得ることができれば」と期待した。

このあと、函館開建と函館建管の両社による北海道胆振東部地震対応に関する報告や、発注者側からの情報提供などを踏まえ、意見交換を実施。受発注者間のさらなる連携強化に向けて、情報共有を図った。

雨煙別川広域河川改修補正・明許（柳北創施工）、阿野呂川広域河川改修補正・明許（柳砂子組施工）の2現場を巡回した。雨煙別川の現場では、現場代理人が工事概要、安全対策などを説明したあと、重機・車両の取り扱い、安全施設の状態、現場内の整理状況などをチェックリストに基づき点検。講評では「追い込み期を迎え、工事を急ぐあまり事故を起こさないよう細心の注意を払い、安全第一で施工を」と求めている。

### 各企業等の社会貢献

#### 長沼中央小から感謝状

#### 校内舗装補修を奉仕

伊藤組土建 近隣4現場がスクラム

【岩見沢発】北広島市と南幌町において、札幌開建発注の河川工事4件を受注している伊藤組土建（札幌、玉木勝美社長）は、今月8日に長沼町立長沼中央小学校の校内通路の舗装補修を実施した。

同社は2014年から継続して長沼町で地域貢献活動を行っており、ことしは長沼町教育委員会に相談

#### 600人参加し植樹帯の花を撤去

#### 来年度に向け熱心に

#### 函館花いっぱい道づくりの会



花の撤去作業に汗を流した

【函館発】函館花いっぱい道づくりの会は、25日には同校から感謝状が贈られた。4人の所長らが同校を訪問。中島英治土壌部長が間嶋校長から、ねぎらいの言葉とともに感謝状を受け取った。

花を撤去し、来年度に向け植樹帯を清掃する。撤去した花はごみとして廃棄せず、自然分解して来年度の植栽活動時に堆肥として使用する。

功労者表彰では公益社団法人日本道路協会長賞を受賞している。

ことしで15年目の節目を迎え、6月には約8000株の花を植栽。今回はこの

#### 環境美化へ早朝から作業 高木組が秋の清掃活動

活動に先立ち、折代代表があいさつ。「本会の活動が15周年を迎えられたのは皆さんの協力があったから」と感謝の意を表し、「けがなく手早く花を撤去し、本年度の活動を締めくくりたい」と述べ、来年度の活動への協力も呼びかけた。

このあと、一行は手分けして撤去作業を実施。終了後には、同会から豚汁が振る舞われ、交流を深めた。

のクリーン作戦に初参加。大門グリーンベルトで清掃活動を実施してきたが、ここ数年で街もきれいになっ





若松地区で進む大型客船を受け入れる岸壁基礎工事現場などを見学する函館高専生

# 最先端技術に触れる

## 高専生 岸壁基礎工事を見学

函館高専社会基盤工学科は道路や岸壁の基礎工事の2年生36人を対象にした内容学び、最新の技術の一端に触れた。現場見学会が26日、函館市内2カ所で行われた。生徒は道南建設業の若手後継者

らで構成する函館建青会(渡辺一史会長)が、地元建設業への関心を深めてもらおうと主催した。この日は日吉町の道路改良工事と、若松町で進む岸壁基礎工事の2現場を見学した。岸壁工事の現場では、管原組(菅原修社長)が手掛ける工事内容の説明を受け、大型客船のプロペラや海流などによって基礎部分の土砂が流れ出ないように、袋詰めした石を海底に沈めるための準備などが紹介された。生徒は重機を器用に扱った。井口幸大さん(16)は「夏に見たときより完成に近づいていて驚いた。港湾事業に興味があるので有意義な機会になった」と話していた。(小杉貴洋)

例な次す